

第2号様式（第7条、第9条第2項、第10条第1項）

実施計画書（令和5年12月20日版記載例）

1 活動理念・方針

※団体等が自然環境保育を行う理由や目指す姿などを記載してください

2 計画内容

(1) 保育者の人数、児童の定員及び在籍数

保育者の人数	有資格者	10人	無資格者※1	7人
	保育者合計	人		
定員数 在籍者数	定員		在籍数	
	[3歳児]	40人	在籍者数	40人
	[4歳児]	40人	在籍者数	40人
	[5歳児]	40人	在籍者数	40人
	※2[異年齢児童合同]	人 ()歳児から ()歳児まで		
	合計(定員)	120人	合計(在籍者数)	120人

コメントの追加[千葉県2]自然環境保育に関わる保育者のうち、幼稚園教諭の免許、保育士の資格を有さない者
※保育補助者など

コメントの追加[千葉県1]自然環境保育に関わる保育者の人数（申請時点で把握している全ての人数（非常勤職員、ボランティアスタッフを含む））を記載してください。
※地域の協力者で農業指導をする人物などは除く。

※1 無資格者は、県が団体等との関係やその者の保育等の経験等について確認し、保育等に従事する者として適当か個別に判断を行う

※2 年齢ごとの定員を定めておらず、常に異年齢合同で保育を実施している場合に記入

【添付書類】(②は認可外保育施設のみ、③は施設を有さず保育等を行っている団体等のみ)

① 自然環境保育に関わる保育者の氏名、職名（園長・保育士等）が記載された職員名簿

※ 無資格の保育者については、その者の団体等との関係（直接雇用、派遣など）、保育等の経験年数、名簿欄外に「無資格者は有資格者の指揮の下で活動する」旨を記載すること

② 直近の認可外保育施設運営状況報告書及び申請日以前3か月以内の以下に示す書類の写し

- 開所時間、休業日、料金等が記載された書類（園則、管理運営規程、利用料金表など）
- 保育に従事している保育士その他の職員の配置数及び勤務の体制が分かる書類（シフト表等）
- 保育士その他の職員の配置数及び勤務の体制の予定（申請日以降3か月間のシフト表等）
- 団体等の代表者及び保育等の責任者、その他職員の氏名、職名及び勤務形態等が分かるもの（職員名簿、定款、約款など）
- 有資格者の職員について、資格を証する書類（保育士登録証など）の写し
- 保育者の研修修了証の写し
- 施設の平面図

コメントの追加[千葉県3]全ての認証申請団体において必要となります。

コメントの追加[千葉県4]無資格の保育者がいる場合に限り必要となります。
※記載漏れがあると補正の対象となるため、忘れずに記載してください。

③ 認可外保育施設運営状況報告書に準じた書類の写し

- ・ 保育等の時間、休業日等が記載された書類（管理運営規程など）
- ・ 日々の保育者数がかかる資料（月間勤務予定表、シフト表など）
- ・ 団体等の代表者及び保育等の責任者、その他職員の氏名、職名及び勤務形態等がかかるもの（職員名簿、定款、約款など）
- ・ 有資格者の職員について、資格を証する書類（保育士登録証など）の写し
- ・ 保育者の研修修了証の写し
- ・ 決算関係書類の写し（申請日の属する年度の前年度及び前々年度の財務諸表、収支計算書など）
 - ※ 団体等の設置者が法人の場合で、申請する団体等に限った決算関係書類がない場合は、当該法人の決算書類の写しで可

(2) 開所日数、開所時間

開所日数 開所時間	※開所日（曜日毎）及び保育時間を記入 月曜日から土曜日 午前9時00分から午後4時30分まで						
	(閉所する期間)	春季	月	日	～	月	日
		夏季	月	日	～	月	日
		冬季	月	日	～	月	日
		その他					

(3) 保育等の内容

保育所保育指針や幼稚園教育要領又は幼保連携型認定こども園教育・保育要領を尊重し、見通しをもった、子供の状況や発達過程を踏まえた教育・保育活動を行っている	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
--	--

【添付書類】(2)は認可外保育施設及び施設を有さず保育等を行っている団体等のみ

① 保育等の事業の周知のために配布しているパンフレット、募集要項等の説明資料

※ 作成していなければ添付不要

② 保育の計画に関するもの

- ・ 申請団体等における保育の基本的な方針や、見通しをもって保育を行っていることが分かるもの（全体的な計画（教育課程又は保育課程）など）
- ・ 保育の記録の様式

(4) **自然体験活動の時間** ※2月に申請する場合（普及型）

自然 体 験 活 動	①申請日以前3か月間の実績		②申請日以降3か月間の計画	
	申請日の属する月の前月の活動		申請日の属する月の翌月の活動	
	1月	4時間/週	3月	5時間/週
	申請日の属する月の前々月の活動		申請日の属する月の翌々月の活動	
	12月	3時間/週	4月	5時間/週
	申請日の属する月の3か月前の活動		申請日の属する月の3か月後の活動	
	11月	3時間/週	5月	5時間/週

コメントの追加[千葉県5] 申請時点において、継続的に自然環境保育を実施していることが必要です。
また、認証日以降は認証基準を満たしている必要があります。

※ 3歳以上の子どもにおける自然体験活動の時間数について、各月ごとの1週間当たりの平均時間数を記載すること。

【添付書類】

① 園庭の写真（園庭で自然体験活動を実施する場合のみ）

- ・ 撮影方向の異なる活動場所の写真3枚以上

② 園庭以外の外部フィールドの概要（名称、位置）、図面及び写真

- ・ 外部フィールドの全体図
- ・ 外部フィールドの付近の見取図（目標となる地物が記載されている縮尺のもの）
- ・ 撮影方向の異なる活動場所の写真3枚以上

※ 外部フィールドが複数ある場合はそれぞれ上記の図面及び写真が必要

コメントの追加[千葉県6] 3歳以上の子ども1人当たりの活動時間数となります。

コメントの追加[千葉県7] 原則として、園庭以外の外部フィールドでの活動が必要となります。
年間を通じて継続的に使用する外部フィールドが提出の対象です。

コメントの追加[千葉県8] 外部フィールドの全体図とは、園舎と外部フィールドの位置関係がわかる地図（目安として10,000分の1程度）、
外部フィールドの付近の見取図とは、外部フィールドの範囲がわかる地図（目安として2,000分の1程度）

(5) 地域社会との連携

地域社会との 連携	<p>地域社会とどのような交流の機会を設けているか記載</p> <p>○地域住民から田や畑の提供を受け、活動に当たり、知識・作業方法等の助言を受けて、取組んでいる。</p> <p>○・・・を行い、地域住民を招いて、子どもと地域住民が交流する機会を設けている。</p> <p>○・・・</p> <p>○・・・</p> <p>○・・・</p>
--------------	---

(6) 安全確保

屋外で子どもの体験活動を行う際の十分な安全管理に配慮するため、どのような保育者の配置体制になっているか、具体的に記載してください。	
保育者の配置人数（おおむね子ども〇人につき、保育者〇人）、配置場所（移動の際は前後に保育者を配置、活動の際は、保育者全員で全ての子どもに目を配れるよう配置）などを具体的に記載してください。	
安全管理マニュアルの作成	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
安全管理マニュアルについて、保育者と保護者にどのように周知しているか記載 保育者に対しては、園内研修を通して周知するとともに、保護者に対しては、配布している。	
緊急事態（地震、落雷、豪雨、降雹等の自然災害や不審者遭遇等）が発生した場合の避難などの対応方法	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
避難などの対応方法について定められている内容と、どのような形で保護者や保育者に共有し周知しているか記載 別添安全管理マニュアルのとおり定めるとともに、毎月実施する避難訓練を通して、保護者や保育者に共有、周知している。	
けがや事故へ迅速に対応するための医療機関、消防署及び警察署への連絡方法 (事前に各機関へ協力要請を行っていること。)	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
連絡方法についてどのように定めているか、事前の協力要請の内容とあわせて記載 連絡方法は、別添安全管理マニュアルのとおり定めている。医療機関、消防署及び警察署に対して、自然体験活動を実施している旨年度当初に連絡済みである。	
けがや事故へ迅速に対応するための各保護者との複数の連絡方法（書面またはメール等）	<input checked="" type="checkbox"/> あり（下記に記載） ・電話 ・チャットアプリ <input type="checkbox"/> なし
子供及び保育者の「傷害保険」への加入及び団体としての「損害賠償責任保険」への加入	<input checked="" type="checkbox"/> 加入済（証書(写)を添付) <input type="checkbox"/> 未加入
年間計画（安全計画）の作成	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

コメントの追加[千葉県9] 既存のマニュアルがある場合、既存のマニュアルに必要事項を追加いただく形で問題ありません（マニュアルとは別紙に別紙記載でも可）。

コメントの追加[千葉県10] 記載例は県ホームページに掲載してあります。

【添付書類】

自然体験活動における安全管理に関する規定が記載されている以下の書類

- ・ 安全計画 ※1
- ・ 安全管理マニュアル等 ※2
- ・ 子ども及び保育者が加入している傷害保険証書の写し（公務員及びみなし公務員を除く。）及び団体等が加入している損害賠償責任保険証書の写し（国、地方公共団体及び国立大学法人を除く。）

※1 安全計画については、学校保健安全法（昭和33年法律第56号）に基づく「学校安全計画」、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）に基づく「安全計画」又はこれら計画に準じたものとする。

コメントの追加[千葉県11] 労働保険をもって保育者の傷害保険には加入しているとして構いません。その場合は労働保険に加入していることがわかる資料の写しの提出が必要です。

※2 安全管理マニュアル等には、以下の項目が記載されていることが必要（該当箇所をマーカー等で明示）

- ・ 自然体験活動に係る団体等の職員及び保育者等全体の役割分担
- ・ 自然体験活動における事故予防対策の内容（外部フィールドについては移動経路の図面（危険箇所を明示したもの）を添付）、各活動場所におけるこどもの活動範囲及び危険箇所を明示した図面、各活動場所の遊具等設備の状況、各活動場所又は各活動において年齢別、発達別に特に考慮すべき事項）
- ・ 各活動場所における保育者の配置体制
- ・ 自然体験活動中及び活動終了時点のこどもの人数把握方法
- ・ 事故発生時の初期対応及び保護者、病院その他関係機関への連絡方法
- ・ 地震や悪天候の場合の避難などの対応及び保護者、病院その他関係機関への連絡方法
- ・ 保育者の自然体験活動に関する資格や研修受講履歴

コメントの追加[千葉県12] 各項目の具体的な記載事項は、千葉県自然環境保育認証制度に係るQ&Aを参照してください。

コメントの追加[千葉県13] 該当箇所をマーカー等で明示してください。

記載がない場合、再提出いただけます。

コメントの追加[千葉県14] (4) 自然体験活動の時間における添付書類である外部フィールドの全体図、外部フィールドの付近の見取図に当該記載があれば、安全管理マニュアル等においては、記載の省略が可能です。

コメントの追加[千葉県15] (7)、(10)において、資格や研修受講の記載・資料の添付がある場合は、安全管理マニュアル等においては、記載の省略が可能です。

(7) 安全確保に関する講習受講

安全確保に関する講習の受講	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
受講年月日、受講講習名、受講者職・氏名、勤務形態（常勤・非常勤）を記載 〇年〇月〇日 上級救命講習 保育士 〇〇 〇〇 常勤	

コメントの追加[千葉県16] 受講人数（区分ごとに対象となるいずれかの研修）

重点型：保育者2人以上が受講（うち1人以上は常勤）

普及型：保育者1人以上が受講（常勤）

【添付書類】

講習を受講したことが分かる資料の写し

コメントの追加[千葉県17] 安全確保に関する講習を受講し、認証申請書有効期限内の修了証等の写しの提出が必要となります。

(8) 個人情報等の保護

職員及び職員であった者が業務上において知り得た子供及び保護者の個人情報等を漏らすことがないようにするための必要な措置	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
--	---

【添付書類】（認可外保育施設及び施設を有さず保育等を行っている団体等のみ）

個人情報等の取扱いに関して必要な措置を講じていることが分かるもの（内規、宣誓書、就業規則の写し など）

(9) 自然体験活動における保育者の配置

利用児童数		配置保育者		
		3歳：20人	4歳：20人	5歳：20人
保育者	有資格者	2人	2人	2人
	無資格者	1人	1人	1人
	合計	3人	3人	3人

コメントの追加[千葉県18] 自然体験活動時における1クラス当たりの標準的な保育者の配置を記載してください。

※ 標準的な保育者の配置を記載

コメントの追加[千葉県19] 異年齢児童合同保育の場合は、有資格者欄、無資格者欄、合計欄について、それぞれセルを結合し1つにまとめて記載してください。

(10) 研修（質の担保）

県が開催する安全管理に関する研修に参加した(又は参加予定)常勤の保育者の配置	
参加年月日、参加者職・氏名、勤務形態(常勤・非常勤)を記載 〇年〇月〇日 保育士 〇〇 〇〇 常勤	
※安全管理研修については、県で確認ができるため、添付書類不要	
自然環境保育を行う上で有効であると考えられる外部の研修等に参加又は対外的な事例発表等を行った常勤の保育者の配置 ※重点型のみ	
研修等の名称、内容、受講した時期、受講者職・氏名、勤務形態(常勤・非常勤)等の概要を記載 〇〇研修会 〇〇を目的とした研修会 〇年〇月〇日 保育士 〇〇 〇〇 常勤	
自然環境保育を行う上で有効であると考えられる内部研修の実施	
研修の内容、時期等の概要を記載 安全管理研修の共有 〇年〇月〇日 〇〇(技術向上)を目的とした研修会 〇年〇月〇日(実施予定)	

【添付書類】

外部研修の概要・受講したこと等が分かる資料の写し

内部研修の概要・実施したことが分かる資料の写し

(11) 小学校との連携

在籍する子供ごとの記録の作成	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
小学校との連携内容について記載 保育所児童保育要録を小学校に送付するとともに、小学校教師との意見交換を行っている。 授業参観の見学、近隣の小学校と芋の収穫を一緒に行うなど小学校と交流する機会を設けている。	

コメントの追加[千葉県20] 保育士 〇〇〇〇など常勤の保育者の職名・氏名を記載してください（下段も同様）。

コメントの追加[千葉県21] 普及型の場合は、斜線としてください。

コメントの追加[千葉県22] 安全管理に関する研修や、外部研修を受講した者が、同僚の保育者に内容を伝達する場合や、安全管理に限らず自然保育について知見を深めるような内容についてミーティングを行ったり、ベテランの保育者が同僚の保育者を対象に研修を行うことなどを想定しています。
※申請に当たっては、いずれかの内部研修を1つ実施していれば問題ありません。

コメントの追加[千葉県23] 重点型のみ提出が必要となります。

コメントの追加[千葉県24] 書類の添付がない場合、補正の対象となりますので御注意ください。

(12) 自然環境保育の目的、内容

- ※ どのような目的をもってどのような活動をするのか記載
- ※ 実践している自然環境保育の内容を記載
- ※ 季節毎・フィールド毎に、活動内容の概要を記載
- ※ 自然環境保育に関する年間計画がある場合は、「添付のとおり」でも可

※ あくまで例示ですが、以下のような内容を記載してください。

【春】

- ・ 園外の畑
地域交流のため、地域の協力を得て、畑を借り、育て方についてアドバイスを受けて、種まきや水やりなど野菜（じゃがいも、さやえんどうなど）を育てる。その際、育てる野菜などは子どもたちが図鑑などで調べた上で保育者と相談して決める。野菜を育てることや観察を通して、生き物の成長について気づき、なぜ大きくなるのかなど子どもが自ら考えるきっかけを作る。
さらに、食べ物の大切さを知るなど子どもの食育のため、自ら育てた野菜を保育者と共に調理し、食べる。

- ・ 園庭
びわ、梅など園庭に実る果実を採取することを通して、季節ごとに育つ植物が異なることを知る。
また、図鑑などで園庭の植物はどのような植物なのか、果実はどのように調理ができるのかなどを調べることで子どもたちがどのように果実を取り扱うのか話し合っ決めて。
高いところに実る果実の採取に当たっては、保育者が採取するのではなく、どのようにしたら採取できるのか保育者の投げかけにより、子どもたちが自ら考えたり、友達と協力し合っ採取する。

- ・ 園庭、近隣の公園
季節により育つ植物の違いや植物の成長の過程を知るため、春に咲いている花や実をつけている草木を観察したり、採取する。また、採取した花などで色水を作り、色と触れる。
さらに、春になると現れる蝶やテントウムシを観察することや捕まえることを通して、季節により活動する昆虫が異なるなど昆虫の生態や生き物の命の大切さを知る。

【夏】

- ・ 近隣の川、園庭
川や井戸水を活用した水遊びを通して水に親しむ。夏でも水が冷たいのはなぜなのか、川の水はなぜ流れるのかなど水と触れることを通して、子どもたちが考えるきっかけを作る。
- ・ 園庭、近隣の公園
カブトムシ、セミ、トンボなど夏の昆虫探し、採取を行い、春とは現れる昆虫が異なることを知り、図鑑で昆虫を調べたり、なぜ春とは違う昆虫が現れるのか考えるきっかけとする。また、採取した昆虫を飼育することで生き物を育てる喜び・楽しさ、命の大切さを知る。
また、屋外での活動を通して、夏の日でも晴れの日と雨の日では暑さや湿度が違うこと、日向と木などの日陰では暑さが異なることを知る。
- ・ 園舎内
台風や気温が高く屋外での活動が危険な日には、昆虫や植物などの自らが興味のある自然環境保育に関する図鑑、絵本を読む。これらの活動を通じて、自然への興味、外での活動への関心へとつなげる。
また、気になることは自ら調べてみる、気になることに没頭するなど自発的・継続的な行動のきっかけとする。

コメントの追加[千葉県25]園庭での活動など特定の活動のみ記載するのではなく、団体等が行う活動を幅広く記載してください。

※園庭での活動、屋内での活動、近所の公園、森林、川など園外での活動など

コメントの追加[千葉県26]ありのままの自分を肯定する気持ち、他者を信頼する気持ち、自然を大切にすることを育み、自ら考え、行動し、成長しようするためのよう個別の活動目的ではなく、全体的な自然環境保育の目的を記載し、活動内容を列挙して記載した場合には補正対象となります。

コメントの追加[千葉県27]記載内容が不十分な場合、記載内容の補正を求めたり、認証を行うことができない可能性があります。

できるだけ幅広く記載してください。

目安として、季節ごとに普及型は2例程度、重点型は4例程度以上の目的、内容を記載してください。

コメントの追加[千葉県28]活動内容・目的の計画を記載するため、各季節の過去の活動記録を添付し、「添付のとおり」とした場合には補正対象となります。

コメントの追加[千葉県29]どのような目的をもって、いつ、どこで、どのような活動をするのか具体的に記載してください。

コメントの追加[千葉県30]これらの記載はあくまで記載例ですのでそのまま転写して申請はしないでください。

【秋】

・ 園外の畑

春に苗を植え、秋にサツマイモ収穫体験を行う。水や肥料を与えるなど苗を育てることでサツマイモができることを知り、自分で育てた植物への愛着や、育てることの大変さを知る。他にも人参、大根、南瓜などの野菜も育て、収穫をする。畑での活動を通じて旬の野菜を知ったり、雑草取りや水やりなどが植物を育てるためには手間が必要なことを知る。

・ 園庭

秋になると発生する落葉を集めて、焚火を行う。子どもたちが保育者の火起こしの様子を見て、焚火に当たり、火の温かさを知る。

また、焚火の際に、畑で育てたサツマイモで焼き芋を行いみんなで食べることで、食べ物の大切さを知るなどこどもの食育も行う。

このように、火は暖を取ったり、調理に使えるなど便利である一方で、燃えると火事につながる、近づくことやけどの危険があるなど火の危険さや、周りに燃えるものを置かない、予防のため水を用意しておくことなど取扱いには注意が必要なことを知る。

・ 近隣の公園（林）

落葉や木の実を使ったおもまごど、落葉プール、落葉のかけあいなどを通して、創造力を働かせた遊び、全身を使った遊びをするとともに、落葉の感触や温もりを感じる。

また、これらの遊びを通じて、春は葉が緑色であり、落葉があまりないが、秋になると色づき、落葉が多くなるなど季節による変化が植物に起こることなどを知る。

【冬】

・ 園庭、近隣の公園

冬になると気温が下がることで、夏よりも水が冷たくなり、日によって、氷や霜柱ができることに気がつく。そして、氷や霜柱を観察したり、手で触れたり、足で踏んでみたりして冷たさや感触を楽しむ。

このことを通して、季節ごとの自然の変化を知るとともに、なぜ氷や霜柱が冬にはできるのか、気温が上がったら、どうなるのかななどを想像する。

・ 園庭

切り干し大根、味噌などの保存食づくりを行う。

秋に収穫した大根を使って、切り干し大根を作る。食材は、生で食べたり、煮たりする以外にも干す方法があることを知る。また、水分が抜けて、切り干し大根になっていく過程を観察する。

畑で収穫した大豆を使った味噌づくりを通して、味噌は大豆からできていること、味噌ができるまでには時間がかかることなどを実体験により知る。また、大豆から味噌以外にも醤油や豆腐ができることも知る。このような実体験を通して、日本の古来からの食文化に触れるとともに、食べ物を大切にすることの食育を行う。

・ 園舎内、園庭

冬至にかぼちゃを食べたり、臼と杵を使って、餅をついたり、雑煮・凧揚げなどの正月の行事を行う、七草粥を食べるなど季節ごとの伝統的な行事を体験・楽しむことで日本の伝統的な文化に触れ、文化に親しみ気持ちを育む。

【年間】

・ 園庭

泥遊びや穴掘りなどを通して、場所、天気、季節によって砂の感触が異なることを知る。また、集中して物事に取り組み、成し遂げた時の達成感や喜びなどを感じるきっかけとする。

コメントの追加[千葉県31]年間を通じて行う活動の場合は、【年間】欄を設けて記載してください。

- 園舎内

近隣の公園や園庭で採取した雑草、花、落葉、木の実などを使って、リース、コマ、貼り絵、押し花などの工作物をそれぞれのこどもが創造力を働かせて、好きなものを作成する。このことを通して、自然に親しむとともに、自ら考え、行動することや、粘り強く取り組むこと、完成したときの達成感などを感じるきっかけとする。

- 園庭

園舎の周りでプランターを使って、季節ごとに花（スマイル、チューリップ、コスモス、ビオラ、ラベンダー、ローズマリーなど）や野菜（キュウリ、ミニトマト、ナス、イチゴ）を身近で育て、観察や収穫をすることにより、植物を育てる楽しさ、植物（自然）への親しみなどをこどもたちが感じられるようにする。

- 園舎、園庭

園舎内の水槽によりカメやメダカを飼育し、園舎外の飼育小屋でニワトリを飼育することにより、動物への餌やりなどの世話を通して日々動物と触れることで、動物を大切にしようとする気持ちを育む。また、図鑑で動物を調べることでのどのような餌がよいのか、世話のためには何が必要なのか自ら考えたり、友達と協力して世話をすることにより、達成感や協力する大切さなどを知る。

(13) 保育の質の担保に関する団体等における留意事項

- ※ 認証に当たっては、保育の質の担保を重視した審査を行うことから詳細に記載
- ※ 重点型にあつては、どのように質に重点を置いて取り組んでいるか記載

※ あくまで例示ですが、以下のような内容を記載してください。

【保育者のかかわり】

・子どもが主体的に活動できるよう、活動内容は保育者が決めるのではなく、子どもが自ら決められるよう保育者が投げかけたり、また、活動時に達成感、やりがいなどを感じられるように子どもに対するかかわり方について意識している。

具体例：・・・・・・・・など。

【環境構成】

・子どもたちが興味を持って、主体的に活動できるように、子どもたちの希望を踏まえて、フィールドを整備するなど環境構成について工夫している。

具体例：・・・・・・・・など。

- ・また、身近な所ではプランターで育てる植物を子どもたちと相談して決めている。
- ・他にも、園庭以外でも多様な活動ができるよう、地域の協力を得て、畑を借り、季節ごとに農業体験ができるように工夫している。
- ・子どもたちの自主性を育むため、自ら動いたり、友達と協力する必要がある環境設定を意識している。
- ・人から聞いたり、本で見たりするだけでなく、自然の中で実際に自ら触れ、感じられるような「体験」を保育の中で意識している。

【安全管理】

- ・保育者は、子どもの安全に注意した活動を実施するため、リスクマネジメント、救命救急など安全に関する必要な研修を受講している。
- ・子どもたちの活動時には、保育者全員で全ての子どもに目を配れるよう適正な人数を配置するとともに、配置に当たっては、活動の範囲やフィールドの高低差なども意識している。また、安全管理に関しては子どもたちが自ら意識をしていくために、保育者からは命に関わることなど最小限にとどめて、見守りを行っている。
- ・活動場所の事前下見、活動後のふりかえり、ヒヤリハットなどを共有する月に1度の会議など保育者同士の内部共有を通して、危険箇所の共有や、充実した活動内容を実現するための準備を行った上で活動を行っている。
- ・定期的に安全管理マニュアルの確認を保育者同士で行い、事故を未然に防ぐために気を付けるべき点、事故発生後の対応について共有をした上で、活動を行っている。

【地域・保護者協力】

- ・地域交流のため、地域の協力を得て、畑を借り、野菜の育て方についてアドバイスを受けている。
- ・また、活動に対する保護者理解のため、子どもと保護者が一緒に野菜を収穫するなど保護者が参加する活動も積極的に行っている。
- ・家庭においても子どもたちの興味が共有されたり、会話の話題になるなど園での体験が家庭にもつながるように、ドキュメンテーション、連絡帳などで保護者へ活動内容・日々の様子を発信している。

【保育者の技術向上】

- ・自然環境保育を行う上で有効であると考えられる外部の研修等に参加した際には、内部研修を通して、園の保育者へ共有を行い、園全体の技術向上を図っている。
- ・自然環境保育の目的・目標について、保育者同士で共有することで園全体の技術向上を図っている。

【その他】

- ・自然環境保育の充実のために団体等が工夫している点が他にあれば記載してください。

コメントの追加[千葉県32]普及型、重点型どちらの申請においても、記載が必要です。

認証に当たっては、保育の質の担保を重視した審査を行うことから記載内容が不十分な場合、記載内容の補正を求めたり、認証を行うことができない可能性があります。

※重点型の場合には、特に詳しく記載いただく必要があります

コメントの追加[千葉県33]あくまで記載例ですので各団体等における留意事項（工夫点）を詳細に記載してください。